

認知症サポーターが誕生しました！

群馬用水管理所では、3月3日（水）に前橋市長寿包括ケア課より講師をお招きし、「認知症サポーター養成講座」を開催しました。

この取組は水資源機構で継続的に実施されているものであり、施設が広範囲に所在し、職員が業務で外出した際に認知症の方の保護等に役立つことができればとの趣旨で実施しているものです。

講座では、認知症は病気ではなく多様な病気が原因となって現れる症状であるとの説明をいただきました。

また認知症の症状を正しく理解し、認知症の人への対応として「驚かせない」「急がせない」「自尊心を傷つけない」の“3つの「ない」”を基本として、「まずは見守る」「余裕をもって対応する」「声をかけるときは1人で」「後ろから声をかけない」「やさしい口調で」「おだやかに、はっきりした話し方で」「相手の言葉に耳を傾けてゆっくり対応する」の7つが対応のポイントになるとのことです。

今回の講座の受講により、群馬用水には新たに7名の認知症サポーターが誕生しました。今後は、この受講経験を活かして、地域のために役立てるよう行動していきたいと考えています。

